

日韓市民ネットワーク・なごや

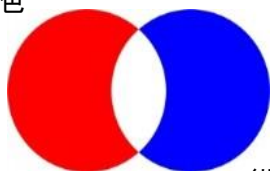
会報 No. 90
2022-3-10

한일 시민 네트워크 · 나고야

発行者：後藤 和晃
〒483-8037 愛知県江南市勝佐町東郷 238
TEL/FAX 0587-56-6788

Home Page: <http://home.m00.itscom.net/nikkan/index.html>

朱色



紺青

目次

- 1 事務局通信
- 2 お知らせ
- 3 会員の広場

統括幹事：後藤和晃
事務局
岩田 晋・後藤和晃



事務局通信

사무국 통신

事務局統括幹事 後藤和晃

1. 日本を愛し水崎林太郎翁の墓を守り通した韓国人、徐彰教（ソ・チャンギョ）氏の遺言を実行します！ ～この12月、翁の故郷 岐阜市に胸像を設置～

私たちの会が発足したのは1998年の2月でした。

いらい足掛け25年、4分の1世紀もの永きに渡って韓国各地の市民の人たちとの絆を守り続けてきました。

その歩みの中で、私たちの呼びかけに最も力強く応じて、握手を求めてきた韓国人が慶尚北道の大都市、大邱市（テグ）に住んでいた徐彰教氏でした。徐氏は、日本が韓国を統治していた時代の1932年に大邱で生まれ、小中学校では、後の韓国大統領の盧泰愚氏や駐日大使呉在熙と机を並べた親友の間柄でした。

その徐氏は、韓国軍人としての務めを終えた後、登山家や歴史研究家の顔合わせ持つ実業家として活躍していました。そんな折、病気がちだった長兄から戦前に巨大な農業用貯水池、寿城池を造成し、“大邱農民の恩人”と称えられた日本人の墓を守るよう託されたのです。

兄の話では徐兄弟の父の徐寿仁さんは、日本から渡ってきた、その人水崎林太郎氏に協力して総督府への陳情に始まり、寿城池の設計、工事から完成まで、共に力を尽くしたというのです。そして、1934年（昭和14年）に水崎翁が72歳でこの世を去ると葬儀や墓造りまで遺族を支援します。徐寿仁さんが、そこまで水崎翁の人生に関わり続けた背景には、翁が当時の慶尚北道の日本人知事や朝鮮総督府の日本人官僚に対し「朝鮮の農民の水不足の苦しみを放置すべきではない。彼らとて今は日本国の国民、彼らのために貯水池を造ることこそ我々日本人がなすべきことではないか！」と力説、ついに巨額の資金（現在のお金で10億円余り）を総督府から引き出し、6万坪に及ぶ広大な寿城池を完成させた力と誠意に傾倒していたことがあります。

1945年（昭和20年）日本が太平洋戦争に敗れ、水崎翁の遺族が日本に帰った後も徐寿仁さんは、水崎翁の墓を守り続けましたが、自身の寿命の終わりが近づくと子供達に



生前の徐彰教氏



寿城池

「我々のために全力を尽くしてくれた水崎さんの墓をぜひぜひ、いつまでも守って行っておくれ！」と言が残したのです。

父や兄から墓守りの役を受けついで徐彰教氏は毎年4月、翁の墓の周辺に植えた桜の木が満開になるころ、大邱の市民や交流のある日本人を招いて水崎翁の追慕祭を行ってきました。その徐彰教も2014年に病のため、この世を去りますが、生前いく度も次のような願いを口にしていました。

いわく「追慕祭を行うようになって何回も水崎翁の故郷、岐阜市に行き市長を始め、ロータリーやライオンズの人たちなど多くの人達に会いました。と

ころが残念なことに水崎林太郎さんの功績を知っている人が全くいないんですね！我々の大邱では水崎さんが亡くなって80年経った今でも、その徳を偲んで追慕祭をやっているのに・・・だから、私が生きていた間になんとしても岐阜市に水崎翁の顕彰碑を建てて、岐阜の市民の人たちに”日韓の絆の人、水崎林太郎翁”をぜひぜひ思い出してもらおうつもりです」と。

徐さんの死後、事務局の後藤は、岐阜県を代表する郷土史家で岐阜女子大学の学長でもある丸山幸太郎先生や岐阜市議会の関係者、それに水崎翁のひ孫である水崎元宏氏の友人グループと連絡を取り合った結果、岐阜市に水崎林太郎翁顕彰会が発足し、徐彰教氏の夢の実現が一気に近づきました。

具体的には、朝鮮に渡る前の水崎翁が、書記や助役、町長として働いていた町役場跡の建物（加納宿まちづくり交流センター）の中に晩年の髭を蓄えた胸像と解説板を置き、故郷の人々に今もなお、韓国の人々に慕われている先人がいることを知ってもらおうというものです。



水崎翁の墓

そして胸像を設置し、公開するのを今年の12月3日(土)と決めました。

この12月は、明治元年(1862年)12月生まれの水崎翁にとって数えでは生誕155年目で、一方、翁が精魂をかたむけた寿城池の完成から95年という節目にもあたります。

水崎翁顕彰会では、こうした方針のもと胸像の制作を愛知芸術大学の彫刻科出身の亀淵元昭氏に依頼、予算を250万円前後と見越して既に会長の周辺から募金を始め、数人から100万円を超える寄付金を集めました。会長の丸山幸太郎先生は「水崎翁の胸像は、今年の12月、故郷の加納町に、間違いなく設置します。完成式典には韓国大邱からも墓を守り続けている人たちにも来てもらいます。

少額でも嬉しいので日韓の絆を結ぶ人水崎翁の胸像制作に募金を、ぜひお寄せ頂くようお願いします」と語っています。

日韓の絆を結ぶ人
水崎翁の胸像制作



拡大図

完成イメージ図



寄付を通して水崎翁の名を、是非記憶してください。

募金は郵便振込でお願いします！

宛 先 水崎林太郎翁顕彰会

口座番号 [記号] 1 2 4 2 0 [番号] 3 6 9 1 1 9 8

2. 日韓交流史講座 2022 を開きます

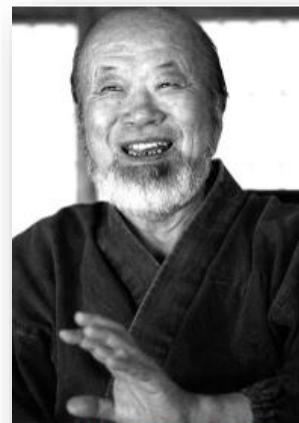
テーマは「古代日本を席卷した百済系渡来人・文化」です！

去年の 2021 年、私たちの会はコロナ禍の中でも 4 月から 6 ヶ月間、日韓交流史講座を開催し、古代から近現代に至るまで、朝鮮半島から多彩な人脈や文化が渡来したことを学びました。

その中で時代が近現代に及ぶと、韓国、朝鮮に対し、突然のように根強い偏見や差別が浮上してきた現実にも理解を深めました。

この点については、薩摩焼 15 代の沈壽官さんが、豪放磊落で知られた父の 14 代が、子供のころ、「や〜い朝鮮人だ、朝鮮人の子だ！」と囃したてられ、いつも泣きべそをかいていた・・・という衝撃的な実話を紹介されました。受講生一同、15 代の真実を隠さない勇氣に感動したものでした。

講座を終えての感想としては「古代日本においては、百済系の渡来人やその文化が大きな足跡を残したという概要は分かったが、今度は、よりテーマを絞り込んだ講座を 3~4 回、聞きたいものだ」という声が多く寄せられました。



14代 沈壽官さん

そこで、今年は、去年も講師で登場いただいた三松みよ子さん（夫が最後の百済王、義慈王の末孫）にテーマを絞った形で百済系の渡来史を 3 回にわたって講義してもらいます。

受講する部屋ですが、去年はセンターで最大という定員 90 人近い第一会議室が抑えられたものの、今年は、第一会議室を週末に抑えることが難しく、2 番目に広い第 2 研修室（定員 63 人）で講座を行います。

ただし、定員 63 人というもののコロナが継続しているので、募集は 21~25 人（原則として 3 人がけに 1 人）までとします。こうした事情のため、受講歴のある方々を中心にハガキを入れておきますので、受講を希望の方は早めに投函願います。



百済王墓前の三松さん（左端）

* はがきの到着順が、26 番以下の方は受講を遠慮して頂くかもしれません。

* 受講料は、3 回で 9000 円です。

第 1 回の講座の際、現金でいただきます。



3. 会費（協力費）の納入をお願いします！

会報に、年会費（2000 円）を郵便局から振り込んでいただく振込用紙を同封させていただきます。会費不足は25年、その間、熱心に会の財政を支えていただいた会員や協力者のうち、日本の敗戦で朝鮮や満州から帰国した方々の大半は、すでに旅立たれ、会費を寄せていただける方は往時よりは少なくなっています。

それでも赤字覚悟で続けてきた日韓交流史講座の受講者の方々が協力者に加わり、会費（協力費）を納めて頂くようになって、まだ当分は活動を続けられそうです。納入にご協力下さる皆さんは、3月中に郵便局から振り込んで頂くよう、宜しくお願いします。



알림 お知らせ

コロナ禍が続いているので、会に代えての事務局会議の承認事項を以下に報告します。

1. 2021 年度の活動報告

2021	日程	行事	備考
	4/10(土)	韓国・大邱市 水崎翁追慕祭	大邱の人達で実施
	4/18(日)	交流史講座（1） こうして渡来人がやってきた！	元日本考古学協会 会長 西谷 正 氏
	5/16(日)	交流史講座（2） 百済系渡来人の展開	百済王族の関係者 三松 みよ子 氏
	6/20(日)	交流史講座（3） 百済系の流れ全地方へ	同 上
	7/18(日)	交流史講座（4） 高句麗系渡来人が関東へ	高句麗王族の子孫 高麗 文康 氏
	8/29(日)	交流史講座（5） 渡来陶工・400年の貢献	薩摩焼窯元 15代 沈寿官 氏
	9/20(日)	交流史講座（6） 在日の人々の今	故郷の家 理事長 田内 基 氏
2022	日程	行事	備考
	1/25(火)	総会に代えての事務局会議	事務局各氏

2. 2021年度の会計報告は下記の通りです。

日韓市民ネットワーク・なごや

2021年度(令和3年) 会計報告書

自 2021年1月1日 至 2021年12月31日

【収入の部】		【支出の部】	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	868,631	通信費	46,142
年会費	126,000	印刷・コピー代	30,954
講座受講料	501,000	事務用消耗品費	33,706
寄付金	6,000	日韓交流関係費	490,000
助成金	0	ホームページ運用費	0
受取利子	9	総会飲食費・会場費	0
		会場・会議費	2,400
		協力者謝礼	5,400
		交通費	0
次年度仮受金(総会参加費)	0	手数料	0
		次年度仮払金(講演会会場費)	0
		次期繰越金	893,038
合計	1,501,640	合計	1,501,640

※会費内訳: 63名 126,000円(前年比+1名 +2,000円)

※次期繰越金: 893,038円(前年比+24,407円)
 内訳(一般×53,754円+講座▲29,347円、差引24,407円増加となる。
 但し、講座収支は、2019年前払金(会場費前払185,200円)を考慮すれば、採算は▲214,547円となる。

令和 4年 1月12日
 以上の通り、令和3年度(2021年)の決算を報告いたします。

会 計 早 間 敏 夫 印

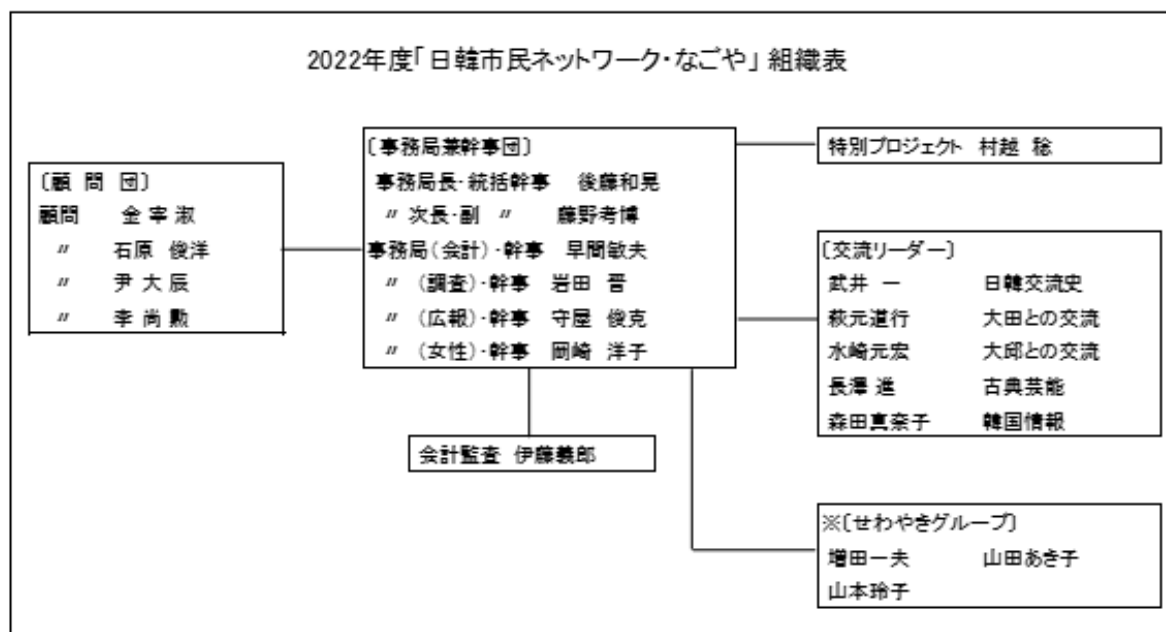
令和 4年 1月13日
 監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

会 計 監 査 伊 藤 義 郎 印



絵 池貴己子さん

3. 2022年度の組織表



4. 2022 年度の行動予定

2022	日 程	行 事	備 考
	4/未定	水崎林太郎翁追慕祭 ～韓国・大邱市・寿城池～	可能なら参加
	5/28(土) 2研	交流史講座（1） 渡来王族の名門、百濟王氏の名は なぜ、王朝から消えたのか？	講師 三松みよ子 氏 (夫は王族の子孫)
	6/27(月) 2研	交流史講座（2） 全国に善光寺が展開する背景は？	同 上
	7/30(土) 2研	交流史講座（3） 宇佐八幡宮神の真実は？	同 上
	12/3(土)	韓国・大邱農民の恩人 水崎林太郎翁胸像完成式典 ～岐阜市加納町・元役場跡～	子孫関係者参加
2023	日 程	行 事	備 考
	2/未定	2022年度総会 ～名古屋市国際センター～	可能なら実施



大邱と大阪 岩田 晋

私が尾張出身であり、後藤和晃さんとは同郷で、私が数年、中学の後輩であることは以前に何かの機会に報告したかも知れませんね。

愛知県に韓国の市民団体と交流をしている団体があるということはインターネットによる情報でわかってはいましたが、その事務局が「江南市の和田勝佐にあり、後藤という人が事務局長」であることを知ってから、いてもたってもいられず、思い切って、電話をしてみました。和田勝佐地区には後藤姓が多く、ひとごととは感じられなかったからです。私は大阪 YMCA で奉仕活動をしています。その仲間が所属している団体の兄弟クラブともいべき親睦団体が大邱にあることは以前から耳にしていました。

大邱が大きな都市であり、リンゴ産地として有名なことは知っていましたが、現地を訪問したことは一度しかなく、日本が韓国を統治していた時に設けられた大田神宮へ足を運んだくらいでした。「大邱に大きい貯水池があり、しかもそれは日本が戦前に設けたものだ」程度の知識でしかありませんでしたが、「現地へ行ってみよう」との思いがあり、YMCA の友人に相談し、大邱 YMCA を訪ねることにしました。列車やバスで大邱を素通りすることは多くありましたが、直接行く機会が殆どない状態でした。

私は 2004 年に高麗大學の韓国史学科へ入学しました。授業

で「豊臣秀吉が倭乱で二度に亘り、韓国を攻め、その乱の初期に日本武将が日本に反旗をひるがえし



日本と沙也加の関係を物語る
日韓友好館（大邱市友鹿洞）

て敵軍の武将になり、鉄砲のことを伝授し、しかも現在もその子孫が住んでおられるということを知っていましたので、そのことも現地で確認したく、思い切って大邱を訪問する気になったのです。

前に日本人が掘削に努力した灌漑池も気になって是非見たくなり、大阪 YMCA が大邱クラブに連絡をされ、私が大邱 YMCA を訪ねることになりました。

釜山から高速バスで大邱に着いたものお互いに初顔合わせでした。事前に「何をみたいのか」を連絡しておきましたので、すべて準備されており、灌漑池の見学はスムーズに進みました。

水崎林太郎氏の墓参りをしましたが、顕彰碑に後藤和晃さんの名前があることを発見し、名古屋の団体が単なる物見遊山の集いではないことを痛感した次第です。この池が今は立派な観光地になっています。この池ができたおかげで農業に従事する人の受けられた恩恵は計り知れないものだと分かりました。この灌漑池を造成する、に際しての書類等は水原にある国の保管施設にしっかり残されているとのことですので、コロナ問題がなくなった時点で直接確認したく思っています。帰国は大邱から大阪空港までの便でしたが、時間に若干余裕がありましたので、灌漑の寿城池近くにある小学校へレンガ造りの校門を見ようと出かけました。

岐阜師範学校跡は小学校になっていますが、此処に残されたレンガ柱は岐阜師範学校時代のものがそのまま残されています。私の亡き父親はこの師範学校で教員の資格を取得しましたが、養老郡の家からここまで通うのは大変で、大垣に下宿していたと聞いています。大垣～岐阜間は通学にさほど問題がなかったようです。この門柱の写真は、江南の墓へ行き、父親の墓前に「これが岐阜師範校門にあった門柱だよ」と見せました。私の父は水崎林太郎氏のことほどの程度知っていたのでしょうか。沙也加の鉄砲の話、これは意外な展開を見せ、犬山と名古屋に結びついていくのです。このことは次回お話ししたいと思います。

大邱訪問時の写真



加納小学校と交流する大邱の学校の先生（左端）と私、右端は大邱 YMCA 理事長



岐阜加納小学校からプレゼントされた記念品の棚

岐阜訪問時の写真



林太郎の母校・加納小学校の生徒たち



岐阜市加納小学校の門柱は岐阜師範学校時代のモノ

韓国の映画に映り込む日本の影

後藤 和 晃

コロナ禍の今、自宅にこもってテレビを見ている時間が長くなっている方が増えているそうですね。小生も、そんな一人ですが、最近はインターネットを通して韓国のテレビや映画を、よく見えています。無条件で楽しいものもありますが、近現代を素材にしたものでは、ストーリーの背景に「日本の影」がちらつき重い気分になることも少なくありません。

楽しかった作品の第一は、何といたって、例の「愛の不時着」です。パラグライダーが趣味の財閥の令嬢が、突風にあおられて、38度線の北側の森に不時着、そこで出会った北朝鮮の最高幹部の息子と恋に落ちるというストーリーです。奇想天外な流れではあるものの間違いなく楽しめた作品でした。

一方、釜山を舞台に成長した高校時代の友人2人が、それぞれ違う暴力団の最高幹部となり最後は対決するという内容の「チング」や朝鮮の第26代国王高宗の娘として生まれながら日韓併合の犠牲となって、日本の貴族と不幸な結婚をさせられた女性を描いた「徳恵翁主」などは、日本人を複雑な思いに追い込む内容になっています。



愛の不時着

まず、「チング」では暴力の応酬を繰り返している暴力団幹部たちが、日本のヤクザをお手本に暴力一本ヤリの日常から抜け出したいと考え行動する姿が描かれています。釜山の荒れくれた男たちから見ると日本のヤクザは礼をしっかりと守り、パチンコという合法的な金儲けで暴力一筋という世界から抜け出た存在なのです。戦後、韓国の経済発展を主導した大財閥の総師たちが、皆、日本の大学で学び、日本流の会社経営を、うまく取り入れた経過は知っていましたが、暴力団の世界まで「日本に学べ！」があったとは意外でした。

そして高宗の娘「徳恵」(トクケ)の一生を描いた作品のヒロインも、なんと「愛の不時着」の財閥令嬢の女優ソン・イエジンが演じていました。

彼女が演じている徳恵の父、高宗は日本によって妃である閔妃を殺された上、国を実質的に日本の植民地にされた人物でした。彼が死去した際には日本人によって毒殺されたとの風説が広まり、それが三・一独立運動のきっかけになったと言われています。

映画でも高宗は侍女が運んできた薬湯を呑み干した後、急に苦しみだし、やがて血を吐いて息絶える形になっています。

娘、徳恵は日本人と結婚したものの、昭和20年の韓国独立後、故郷へ帰ろうとするも、大統領に入国を拒否されました。夫とも離婚し淋しく日本で老年まで過ごした一生、なんともやるせない映画でした。

日韓併合時代が韓国のドラマ・映画に描かれると、それを見る韓国民の胸中に日本に対する負の感情が湧き易いであろうことを脳裏に置きつつ、私たちはこれからも交流の道を歩いて行きましょう。



事務局後記 사무국후기

会報が皆さんの手元に届くころ、韓国では与野党が激突した大統領選の結果がでてはいるはずですが、革新、保守、どちらが大統領となったとしても、私たちは、これまで通り粛々と韓国各地の市民との交流を続けて行きます。

会員、協力者の皆様のご支援を宜しくお願いします。

編集 応援(非会員) 中川修介